

ヒバゴン

ヒバゴンは、日本に生息すると言われている類人猿型の未確認動物のひとつ。

1970年代に広島県比婆郡西城町油木・比婆郡比和町・庄原市（現在は全域が庄原市）の中国山地にある比婆山彦峰において目撃された。ヒバゴンの名称は比婆山（ひばやま）からきている。

目撃情報

- ・類人猿型であり、二足歩行が可能である。
- ・体中が黒もしくは濃い茶色の毛で覆われている。
- ・顔は逆三角形と報告されている。
- ・目はギョロ目で大き(つ)りあがっている。
- ・背丈は1.5m程度と小柄な大人(う)い。すん(ぐ)いむ(つ)りしている。
- ・体格から推定される体重は85kg程度。
- ・足のサイズは27cm程度
- ・目撃された個体は単一(う)しく、片足を引(き)きず(つ)っていた。

目撃情報から作られたヒバゴン像



目撃

1970年7月20日：最初の目撃。
 1974年8月18日：写真撮影に成功したとされる。
 1974年10月11日：目撃を最後にヒバゴンの消息が途絶える。

町の動き

1971年4月：地元の自治体場に類人猿相談係が創設された。
 1975年3月：類人猿相談係は廃止されている「比婆言騒動終息宣言」が出された。

西城の名物

「ヒバゴンのたまご」

ヒバゴンのおぼろけの産卵のたまごとして
 1970年代に作られた。
 一つ、二百六十円で販売されている。

ヒバゴンです。
 僕を探しに西城に
 来て下さい♪
 今年で40周年
 町内でイベントを
 しています。

